

## Kofax Communication Server

### 人、アプリケーション、デバイスをつなぐ

Kofax Communication Server™を使用すると、幅広いアプリケーションとデバイス間で、ビジネスに不可欠なメッセージの信頼できる交換が可能になります。本製品は多機能周辺装置 (MFP) や電話システムといった、実質的にあらゆるデバイス、電子メール、ファックス、SMS、MMS、ボイスメールやテレックスなどのメディアの種類、さらにSAPシステム、IBM WebSphere MQおよびKofax Capture™のようなアプリケーションをつなぎます。組織は顧客やパートナー企業に最適な形式で情報を交換でき、コンプライアンスのためにインテリジェントな伝送が可能となり、情報を追跡できます。

Kofax Communication Serverを使用すると、以下が可能になります

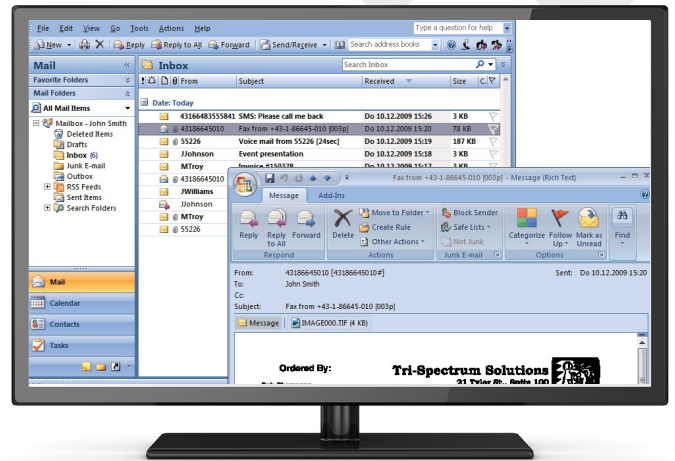
- ◆ 統合されたシステムを通じて、情報交換することにより、デバイス特有のチャンネルを維持するコストを削減します。
- ◆ 手作業の介入のニーズを最小限に抑えることで、情報交換の速度と正確性、信頼性を向上します。
- ◆ 規制要件に従い、すべての関連する通信イベントを追跡し、さらに
- ◆ ビジネスニーズの成長に合わせて、通信チャンネルの数と種類を拡大・縮小します

### 指令に準拠した通信

企業はサーベンス・オクスリー法、HIPAA (医療保険の携行性と責任に関する法律) およびバーゼルIIなどの指令を遵守しなければなりません。しかしながら、多くの企業には受信/発信するメッセージを保管しない通信デバイスがあります。Kofax Communication Serverはすべてのメッセージと、システムにアクセスするすべての人の本人性を追跡し、保管します。本製品はまた、異なるユーザーセキュリティレベルを提供し、不正な情報へのアクセスを回避します。

### 非常に信頼できるビジネス通信

メッセージを紛失したり、確実に配信されなかったりすると、高額な訴訟につながる可能性があります。Kofax Communication Serverは個別のコンポーネントに不具合があったとしても、確認されたメッセージを紛失しない、優れたタンデムシステムを提供し、耐障害性を実現しています。



SMS、ファックス、音声、電子メールを含む、すべての通信チャンネルを、アプリケーションにシームレスに統合

### 統合され、集約化されたインフラストラクチャ

企業は複雑なITインフラを統合し、コストを節約しなければならない圧力にさらされています。Kofax Communication Serverはプリンタ、スキャナ、ファックス機、MFP、ファックスサーバを統合し、企業が全ての管理業務を実行し、中心点から他のアプリケーションに接続できるようにします。

Communication Serverはまた、企業がFax over IP (FoIP)向けの既存のVoIPインフラストラクチャを強化し、従来のファックスの利点を失わずに、ファックス回線とハードウェアを完全に排除することで、総所有コストを最小限に抑えられます。

### パフォーマンスを向上し、リソースの消費を削減

Kofax Communication Serverを使用すると、必要なサーバ数を削減することにより、高いパフォーマンスとリソースの消費削減を実現し、これによって、管理業務、ハードウェアとネットワークリソースおよびラックスペースを削減します。すべてのサーバコンポーネントは、仮想マシンでも実行でき、スペースを節約できます。

## なぜKofax Communication Serverなのか？

### 高い信頼性

- ◆ タンデム構成で単一障害点なし
- ◆ 一旦タンデム構成の両サーバで保管されるとメッセージを確認するため、紛失することがなく、常に信頼できる状況を維持する、ユニークな通知システム
- ◆ すべての主なコンポーネント（通信モジュール、耐障害性、データ保管）はKofaxにより開発されています。これは他のベンダーに依存していないため、高い品質保証を確保します。

### 高い拡張性

- ◆ ファックス、SMS、音声向けインターフェイスを備え、サーバに依存しない「プラグアンドプレイ」通信ハードウェア
- ◆ PCIカードのような、物理的な制限はありません。
- ◆ IPベースのモジュールを複数のサーバ上で分散可能

### オープンなアーキテクチャ

- ◆ 一般的なアプリケーション（Microsoft Exchange、Lotus Notes、SAPおよび他のビジネスアプリケーション）向けコネクタ
- ◆ オープンなインターフェイスと開発者APIにより、非標準アプリケーションの統合を実現
- ◆ 実質的にすべての物理的デバイス（MFP、ファックス機、アナログまたはIP電話など）の統合

### リソースに対する最高のパフォーマンス率

- ◆ すべてのコンポーネントは通信向けに特別に開発され、少ないリソースで高いパフォーマンスを実現します。
- ◆ 通信プロトコルの取り扱いは、スタンドアロンの回線サーバハードウェアに任せられます。
- ◆ 全く新しいFoIP 3.0の設計により、仮想マシンなど、難しいリソース状況に対応します

### メンテナンスの省力化

- ◆ 集中管理できるアーキテクチャにより、特に分散された環境において、管理費を大幅に削減します。
- ◆ 現地のITのアシストなしで、自主メンテナンスできる回線サーバハードウェアを分岐箱として子会社に配置できます。
- ◆ ハードウェアを交換する場合に、サーバの再起動やダウンタイムはありません。

---

**Kofax Communication Server**について詳しくは、[kofax.jp](http://kofax.jp)をご覧ください。